

## 宮代町人口ビジョン及び総合戦略の策定に向けて

## 1. まち・ひと・しごと創生とは？

2008年（宮代町は1997年）に始まった人口減少は、今後加速度的に進み、人口減少に伴う消費、経済力の低下は、日本の経済社会に対して大きな重荷となる。

【国の長期ビジョン～国全体で地方創生に取り組む】

- ①人口減少問題の克服      2060年に1億人程度の人口確保、希望出生率1.8
- ②成長力の確保              2050年代に実質GDP成長率1.5～2%を確保

## 2. 宮代町まち・ひと・しごと総合戦略策定にかかる組織について

- ①宮代町まち・ひと・しごと創生本部  
町長（本部長）、副町長（副本部長）、教育長、会計管理者、宮代町課設置条例に基づく課の課長、議会事務局長、教育推進課長
- ②宮代町まち・ひと・しごと創生本部作業部会  
副課長を中心とした作業部会を開き、施策の情報共有等を実施
- ③総合計画審議会  
後期実行計画と総合戦略を同時に策定するため、有識者会議を兼ねて実施
- ④議会  
全員協議会において意見交換

## 3. 地域活性化・地域住民生活等緊急支援交付金の概要

- ①地方創生先行型交付金（33,902千円/H27.3.24交付決定）
  - ・宮代町総合戦略策定事業                      地方人口ビジョン及び総合戦略策定委託
  - ・宮代町定住促進作戦                              一時保育の充実、道仏公園整備等
  - ・住民情報基幹系システム共同化事業          基幹系システム構築、データ移行費
  - ・多子世帯保育料軽減事業                        第3子以降で0歳～3歳未満の保育料減免
- ②地域消費喚起・生活支援型交付金（52,450千円/H27.3.24交付決定）
  - ・プレミアム商品券の発行                        総額2.3億円（町2割＋県1割＝3割<sup>プレミアム</sup>）

## 4. 「地方人口ビジョン」及び「地方版総合戦略」策定業務委託について

- ①契約相手方              (株)ぎょうせい（総合評価により3月27日選定）
- ②契約額                    約850万円
- ③契約期間                H27年3月30日～H28年3月31日

## 5. 「地方人口ビジョン」及び「地方版総合戦略」策定のポイントについて

次ページのとおり

# 「地方人口ビジョン」及び「地方版総合戦略」策定のポイントについて

## (1) 地方人口ビジョンの策定

### 1. 地方人口ビジョンの位置づけ

宮代町における「人口の現状を分析」して、「人口に関する地域住民の認識を共有」し、「今後目指すべき将来の方向と人口の将来展望を提示」するもの。

対象期間：国の長期ビジョンである2060年を基本とし、地域の実情に応じて設定変更。

### 2. 人口ビジョンの策定

①人口の現状分析	
ア) 人口動向の分析	<ul style="list-style-type: none"> <li>・総人口や年齢3区分別人口、出生死亡数、転入転出数等の状況を分析</li> <li>・性別年齢別の地域間の人口移動状況を分析（●歳の▲市への転出が突出等）</li> <li>・産業別の就業状況や雇用状況など人口動向に関連する事項についての分析</li> </ul>
イ) 将来人口の推計と分析	<ul style="list-style-type: none"> <li>・出生率や移動率等について仮定値を数パターン設定し、将来の総人口推計を比較</li> </ul>
ウ) 人口の変化が地域の将来に与える影響の分析・考察	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現状の傾向のまま人口が推移した場合の、将来の地域住民の生活や地域経済、地方行政に与える影響について分析又は考察（公共施設の維持管理や地方財政等）</li> </ul>



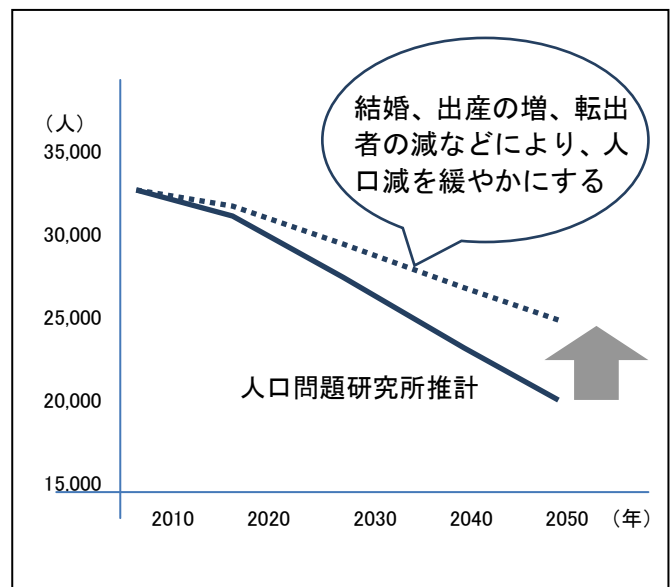
②人口の将来展望	
ア) 将来展望に必要な調査分析	<ul style="list-style-type: none"> <li>・既存データやアンケート調査等により、町民の結婚、出産、子育ての希望や地域移住に関する希望などについて調査分析。</li> </ul>
イ) 目指すべき将来の方向を提示	<ul style="list-style-type: none"> <li>・調査分析結果を踏まえ、町の現状と課題を整理し、宮代町の人口の目指すべき方向を提示。（総合計画の目標人口平成32年度に35,000人も検証）</li> </ul>
ウ) 人口の将来展望	<ul style="list-style-type: none"> <li>・国の長期ビジョンを勘案し、総人口や性別年齢3区分別人口等について、町の将来展望を策定。</li> </ul>

### 3. 宮代町の人口ビジョン策定にあたって

宮代町の合計特殊出生率は、1.14（平成25年度）で、県平均1.33及び国平均1.43と比較して低い数値です。また、近隣市町と比較し、25歳から39歳までの男女未婚率が高いこと、町内での就業率が低いことも当町の課題となっています。

一方、道仏区画整理の完成により、近年子育て世代の転入は増えています。

町の人口ビジョン策定にあたっては、他にも様々な現状分析を行ったうえで、出生数や生産年齢人口をどう増やして、将来人口推計グラフのカーブを緩やかにするかという検討を行っていきます。



## (2) 宮代町総合戦略の策定

### 1. 総合戦略の位置づけ

宮代町の人口ビジョンを踏まえ、町の実情に応じて今後5か年の目標や施策をまとめるもの  
対象期間：平成27年度から平成31年度の5か年

### 2. 宮代町総合戦略の策定

①検討すべきポイント	
ア) 基本目標の設定 (国が定める次の政策を勘案して、町の基本目標を設定)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 地方における安定した雇用を創出する</li> <li>・ 地方への新しいひとの流れをつくる</li> <li>・ 若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる</li> <li>・ 時代にあった地域をつくり、安全な暮らしを守るとともに、地域と地域を連携する</li> </ul>
イ) 講ずべき施策に関する基本的方向の設定	基本目標を達成するために講ずべき施策の基本的な方向性を決める (例：地方における安定した雇用を創出⇒農業や観光業など、雇用機会の確保や創出につながる地域の特性を生かした産業政策に取り組む 等)
ウ) 具体的施策と客観的指標を設定	基本的方向に従い、個別の施策を定め、施策ごとに重要業績成果指標 (KPI) を設定する (例：新規就農者支援 ○人、農業6次化の取組 △種類 等)
エ) PDCAサイクルを通じて、客観的な効果検証を実施	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ Plan 数値目標・客観的な指標を設定した効果的な総合戦略を策定</li> <li>・ Do 総合戦略に基づく施策を実施</li> <li>・ Check 数値目標や客観的な指標の達成度により、成果を客観的に検証</li> <li>・ Action 検証結果を踏まえて施策を見直し、必要に応じて総合戦略を改訂</li> </ul>

### 3. 総合戦略の参考例

#### 3. 若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる

##### (1) 基本目標

出生数：5年間で●●人 合計特殊出生率：5年後に●● 婚姻数：5年間で●●件

##### (2) 講ずべき施策に関する基本的方向

- ・ 若者が希望どおり結婚し、子どもが持てるよう、若い世代の経済的安定を図る
- ・ 子育て相談、支援施設の充実を図り、妊娠・出産・子育てについて、切れ目のない支援を行う
- ・ 育児休暇等の多様な働き方や楽しい子育て等の提案をし、出産、子育ての普及を図る 等

##### (3) 具体的な施策・施策ごとの重要業績評価指数

	具体的な施策	KPI (重要業績評価指数)
・ 若い世代の経済的安定を図る	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 婚活支援、結婚祝い金の助成</li> <li>・ 若者に対する職業相談会の実施</li> <li>・ 三世帯同居の費用助成</li> </ul>	年 ●件 年 ●件 年 ●件
・ 子育て相談、支援施設の充実を図り、妊娠・出産・子育てについて、切れ目のない支援を行う	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 休日子育て相談窓口の開催</li> <li>・ 気軽に立ち寄れる子育てカフェの開設</li> <li>・ 子育てブログの開設</li> </ul>	年 ●回 町内に●箇所 年間 ●アクセス
・ 育児休暇等の多様な働き方や楽しい子育て等の提案をし、出産・子育ての支援を行う	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 高校生、大学生の保育体験を実施</li> <li>・ 専門家によるセミナーの開催</li> </ul>	年 ●回、▲箇所 年 ●回